

第206号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

ふれまち八多

八多ふれあいのまちづくり協議会30周年記念式典



平成6年5月24日に発足した「八多ふれあいのまちづくり協議会」は今年で30年の節目の年を迎えました。5月26日（日）にふれあいセンターで30周年記念式典を実施。

山本智康北神担当区長・坊やすなが神戸市会議長をはじめ北区選出の市議員の先生方、近隣の自治会長・神戸市北神区の関係者など多数のご来賓に加え地元住民を含め約100名が参加しました。

岡田孝久委員長の式辞にはじまり永年活動者に対する感謝状の贈呈（お名前は205号に記載済み）、記念撮影と進みました。井上先生の講演は2面にダイジェスト版を掲載しましたのでぜひご覧ください。最後は記念演舞で力強い八多太鼓の演奏、あでやかな八多婦人会の民踊が披露されました。「ふれまち」の活動もこれから新たな次のステージに進みます。今後ともご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

*八多ふれあいのまちづくり協議会のホームページをご覧ください。

みんなで守る地域の歴史

神戸大学大学院人文学研究科特命講師

井上 舞 先生

私は、神崎郡神河町出身で神戸大学大学院で中世文学を勉強していた時期に親戚の家から古文書がでてきた。神戸大学の地域連携センターに相談にのっていただき、その後仕事を手伝っているうちに、そのまま地域連携センターで働いている。

地域連携センターは歴史文化をいかしたまちづくり支援と自治体史の編纂協力、災害時の歴史資料の救済・保全、地域歴史遺産を活用できる人材の育成、地域の歴史文化をめぐる情報の共有や交流の促進を軸に活動しており、私は主に播磨地域を担当している。

「地域歴史遺産」とは？

・古文書・民俗行事・伝承・景観など人々の生活の理解のために必要なすべての文化財を指すが、単なる「モノ」ではなく、「モノ」をめぐる人と人との持続的な関係に注目する概念である。

たとえばセンターの茅葺民家の修繕の話にしても、今までこの茅葺民家が使われずに、放置されていたら、修繕という話には誰も乗ってこない。みなさんが、使っていて愛着を持っておればこそ、修理していかなければならないという話を実現するわけである。したがって、この茅葺民家はみなさんにとって大事な地域歴史遺産ということができる。

地域歴史遺産を守りましょうという活動に、歴史好きの方は何も言わずに集まってきてくれる。それ以外になると講演に来てくれる人はいるが、実際に古文書整理などをやろうとすると、「歴史は詳しくないから。」「うちの町には何もないから」「古文書なんて怖い、扱えない、読めない」と言われてしまう。

歴史的資料を取り巻く現状

古文書は、大体蔵や旧家の箆笥の中などに残されているが、過疎化、高齢化、家の解体、資料への意識の変化があり、廃棄・流失・焼失・売却などの危機にさらされている。昔のように必ず家を継ぐ者がいるわけではないので、家が途絶えると処分されてしまう。さらに昨今の「コロナ断捨離?!」で、大量の古文書が消失した。

古文書（地域史料）は個人の家の歴史だけでなく、地域の歴史を知る手がかりであり、個人宅に残っているものも地域のみなさんの宝といえる。

地域の歴史を知るための大事な資料だからこそ、個人の資料だからと見て見ぬふりをしたり、大学などの専門家に任せきりにせず、ぜひ整理にも地域の人に関わってほしい。

実例を挙げると、福崎町では、地区の公民館から昭和の初め頃の古文書が発見された。段ボールに詰められて捨てられそうになっていたが、それでも捨てたらあかんのではという人がいて、なんとか残った。地区



のみなさんに集まってもらって整理を行い、展示会をした。地元の人にも昔の地名や今は埋まってしまった水路などの情報を集めて、歴史地図を作ってもらった。また、別の文化財建造物の襖の下張りに古文書が使用されていたので、教育委員会と協力して地元の人を中心に下張りを剥がして整理する活動を進めている。襖計80枚という分量で、福崎町出身の民俗学者柳田国男に関係する文書なども発見された。地域に残された貴重な情報を残すことができた。

みんなで守る地域の歴史

古文書整理の手順だが、①クリーニング、②付番、③目録作成、④写真撮影、⑤保存という過程がある。地域の史料を守り、生かすためには絶対に仲間が必要。古文書を読む能力は③の目録作成ぐらいであり、いろいろな人に地域の歴史に関わっていただきたい。研究成果を発表するのが目的ではなく、史料整理・保存に地域のいろいろな人が関わり、資料を整理する（場）、解説する（場）、活用する（場）などを通して、ゆるやかにつながり、自分のできる範囲でできることをやること、そして受け身にならず、発信者になること。今日の話も、聞いて良かったなで終わるのではなく、誰かに話して広げて欲しい。

地域の歴史を災害から守る

最近、大規模自然災害の頻発と史料の損失が甚だしい。八多町はハザードマップを見ると、危険とされる箇所は少ないが、大雨や大地震などの危険はどこにでもある。

被災した史料の復元には膨大な時間を要するのでまずは被災させないことが大事である。そのために日常の防災活動の中に、地域の文化財への対応を盛り込む。たとえば、古い資料を置いてあるところが水につかる危険はないか等を考えて八多地域でも備えてほしい。

もし、古文書が出てきたら、神戸市の文化財課や神戸大学の地域連携センターに相談して欲しい。

これからも地域のみなさんが地域歴史遺産を10年、20年、100年後も長らく守り続けていくことをお願いします。

2024年度 八多ふれあい市民健診のご案内

日時：2024年8月21日（水） 9時15分～11時

場所：八多ふれあいセンター（送迎・託児もあります）



ご予約方法は下記へ！

健診を受けるメリット

メリット1

いろいろな病気のリスクを発見

高血圧、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病のリスクや結核などの疾病の早期発見につながります。早期発見により、病気が重症化することを予防することができます！

メリット2

将来の医療費を抑制

健診を受診している人は受診していない人と比べ、年間約65万円、生活習慣病にかかる医療費に差があります。（神戸市国保健診データ・レセプトデータより）健診は将来の自分への投資です！

受けられる健診の種類と対象者

種類	対象
神戸市国保特定健診	神戸市国民健康保険に加入している40～74歳の人 ※要受診券 受診券がない場合は神戸市けんしん案内センター（078-262-1163）まで
後期高齢者健診	生活習慣病の治療中でない75歳以上の人
神戸市健康診査	健診受診機会がなく、おおむね過去1年間健診を受けていない、生活習慣病の治療中でない39歳以下の人



◆対象者や健診の内容、追加で受けられる検診は、「けんしんガイド」または神戸市HPで「市民健診」をご確認ください。

市民健診のページはこちら



ご予約は次の3通りから！

① 予約票で

※八多出張所、八多ふれあいセンターに設置してあります

FAX

078-871-8048

送付先

予防医学協会予約受付センター

8月2日×切

② お電話で

078-871-7758

予防医学協会予約受付センター

月～金 8:40～12:00

13:00～17:00

※祝日を除く

8月2日×切

③ ウェブwebで

神戸けんしんWEB予約サイト



7月24日×切

これからも、生き生きと自分らしく暮らしていくために、ぜひ市民健診を受診しましょう！

「けんしん」のご質問は神戸市けんしん案内センターまで

078-262-1163 8:40～17:00(土日祝日を除く)

※申し込み用紙は八多出張所・八多ふれあいセンターにあります。また、ホームページ「ふれまち八多」からダウンロードできます。



梅雨を前に防コミリーダー研修



6月9日(日)、梅雨を前にして恒例の八多防コミリーダー研修が北消防署北分署で行われ、各地区長が参加。10時集合、北分署職員から最初にビデオを使って防災福祉コミュニティの組織と

リーダーとしての心構えの説明。その後、放水訓練・消火器の取り扱い・救急救命などの実技指導がありました。最近の梅雨は大雨が降ることが多く決して油断できません。また、地震は日本各地で頻発しています。神戸市からはハザードマップも配布されています。危険箇所は常にチェックしておいてください。日頃から十分な災害の備えをすることを願います。ご指導いただいた北分署の職員の皆様さま、お世話になりました。

令和6年度 八多青少年育成協議会総会

6月8日(土)、例年より1か月早く標記の会がふれあいセンターで開催されました。議事では令和5年度事業計画・決算報告の後、新役員の選出。令和6年度事業計画・予算が原案通り承認されました。

- 役員は左記の通りです。(敬称略)
- 会長 柿田 雅由
- 副会長 西下 三鈴・藤崎 美代子
- 会計 竹垣 久美子
- 書記 今北 貴子
- 監事 鷲尾 慎一・井上 浩子
- 顧問 岡田 孝久

「新たなスタートを」



八多青少年育成協議会 会長 柿田 雅由

私事ではありますが、青少年育成協議会の会長を引き受けて10年が経過しました。令和6年度は心新たにスタートを切りたいと思っています。

10年の間にはいろいろな事がありました。4年前になりましたが、北区の支部から単位青少年協として役所直轄の協議会と変わったのは大きな出来事でした。また、八多学園の保護者向けに育成委員としてのお手伝いを募集したところ、ありがたいことに数名の応募をいただきました。今年度は11名の育成委員(当て職除く)で活動をしています。青少年協は専任の育成委員の他に各種団体の代表やお巡りさんなどで構成されています。それぞれの立場や知識に基づき意見を出し合って活動に活かしていくことが大切です。これからもご協力のほどよろしくお願いたします。子どもたちが安心して健やかに育つよう、見守っていききたいと考えています。

金婚カップル祝福表彰

令和6年度に結婚50年目の節目を迎えられるご夫妻を対象にした神戸新聞社主催の「金婚夫婦記念式典」に八多町内から申し込まれた方のお名前が5月4日(土)の神戸新聞に掲載されました。おめでとうございます。式典は北神では5月12日(日)にありまホールで開催されました。いつまでもお二人なかよく元気で過ごしてください。(敬称略)

☆坂上 寿和・悦子(屏風)

※他に今年金婚に当たられるご夫妻(昭和50年ご結婚)がおられましたら、ふれあいセンターまでお知らせください。

好天に恵まれ「第48回 きたきたまつり」



6月1日(土)、「第48回ききたまつり」が例年と会場を変更してありまホールとその周辺で開催されました。ありまホールでは12時から開会式、岡田孝久北区神戸まつり協賛会長のあいさつ、高尾ひろ子実行委員長の開会宣言の後、神戸広陵学

園高校のマーチングバンド部のオープンファンファーレでスタート。その後、会場では26の団体がステージで多彩な演技を披露し、会場は常に満席状態で大いに盛り上がりました。また、ホール周辺では23の団体がブースを出展。好天にも恵まれ大勢の親子連れでにぎわいました。

八多町からは山口婦人会長・柿田青少協会長もそれぞれの団体のスタッフとして頑張っておられました。ありまホールロビーの地域PRコーナーでは昨年スタートした「八多学園」の展示をして多くの方にご覧いただきました。関係者のみなさんお疲れさまでした。

編集後記

「ふれまち30周年記念式典」多くの方にお世話になり、ありがとうございます。また、これから新しい歩みが始まりますが、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。さて、次の大きな行事は8月3日(土)の「夏まつり」です。昨年は多くの人で大盛況でした。今年も自治会に関係する多くの団体が出店を予定しています。チラシを入れましたので、今年も夏の1日をゆっくりに楽しんでください。

